

越谷市議会 6月定例会報告



山田 ゆう子

補正予算

子どもの居場所への支援拡充へ

今年度に入り、ようやく越谷市でも、子どもの居場所を拡げる取組みが実現しつつあります。6月には市内の子ども食堂を一覧で知ることができる越谷市子ども食堂登録制度や、越谷市子ども食堂事業費補助金制度がスタートしました。さらに7月には移動式プレーパークのためのプレーカー「わくわくこしがやカー」が導入され、子どもが泥んこで自由に遊べるプレーパークの開催日を増やすことができました。

さらに9月議会では、市内の子ども食堂

同士のネットワークづくりや運営に関する相談支援などを行う「こどもの居場所支援団体育成事業」のための補正予算が可決されています。

子ども食堂をはじめとする子どもの居場所の運営はほとんどがボランティアの善意に委ねられているため、持続可能な運営ができるよう、引き続き行政の支援が必要です。



清水 泉

一般質問

オーガニックビレッジ宣言で環境に優しい農業を

質問 農水省のみどりの食料戦略により有機農業に特化している市町村もあり、オーガニックビレッジ宣言を行うところも出てきている。さいたま市では宣言に向けてオーガニックフェスを立ち上げたが、本市での取組みは。



答弁 全国では現在82市町村が行っており、埼玉県内では小川町が令和5年5月に宣言をしている。本市では有機農業に取り組む農業者は少ない状況となっているが、独自に有機農業の普及に取り組む意欲的な農業者もいるため、連携や協力を図り、環境への負荷を低減した営農活動を推進していく。



大田 ちひろ

一般質問

子どもたちの学校給食 自校式も含めた検討を

質問 災害時の避難所機能強化や地場野菜使用率向上、出来立てが食べられるなど自校式給食の魅力が再認識されており、他自治体ではセンター方式から自校式に切り替えを行っているところもある。今後、越谷市では老朽化した給食センターの建て替えの必要があるが、その際には、自校式を含めた検討をしてはどうか。

答弁 今後学校施設の大規模改修や、あるいは学校再編についても検討する必要がある。給食の在り方についてセンター方式との組合せも視野に入れて自校給食や親子方式について調査研究する。



※親子方式とは…調理場をもつ自校方式の学校(親)が調理場を持たない学校(子)の給食も作り給食時間までに配送する方式

請願採択 核兵器廃絶に向けた確実な一歩

日本は唯一の被爆国として、核保有国と非保有国の間で橋渡し役を果たすべき重要な責任を担っています。核兵器廃絶に向けた国際的な動きが加速する中、日本がその対話の場に積極的に参加し、リーダーシップを発揮することが強く求められています。

私は今回、想いのある方たちと共に「核兵器の廃絶に向け、被爆国としての役割を果たすことを求める意見書の提出」を求める請願を、越谷市議会に提出しました。結果は自民党を除く賛成多数で採択、意見書の内容は「日本政府が来年3月に開催される核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバーとして参加すること」を求めるものです。

これまで、核保有国やその同盟国が会議に参加しないという課題がありましたが、日本は被爆国として核兵器の非人道性を長年訴え続けてきました。今こそ日本が核兵器廃絶に向けたリーダーシップを発揮し、国際社会における重要な役割を果たすべきだと、強く感じます。

この内容に対する請願採択は、地方自治体が国際的課題に関わり、市民の声が国政に影響を与える力があ

ることを示した重要な一歩です。この動きが、日本が核兵器禁止条約に積極的に関与するきっかけとなることを期待しています。

今回、自民党だけが反対をしましたが、私はいつも思うのです。政党の考えは抜きに個人の気持ちは本当に本心でこの内容に反対なのかと。

私は、国民も権力者も一人ひとりが本音で話し、よりよい未来を創りたいと願っています。

今年のノーベル平和賞が日本原水爆被害者団体協議会に授与されたことを受け、核廃絶への意思表示を続けることの重要性が改めて認識されました。核のない未来に向け、共に行動し続けましょう。(請願者シネケ)



請願者と議員有志で核廃絶を訴える街宣を行いました

ネットの視点の

越谷市立病院の経営改善はいま

コロナ後で経営不振であった越谷市立病院は大きく変わろうとしています。救急車の積極的な受け入れで目標50%を達成し、6月は60%となり過去10年間で最も良い数値を出しています。地域の医療機関への紹介率65%の目標も達成していますが診療報酬などは更なる取組みが必要です。今後もさらなる経営改善で挽回してほしいです。

看護師不足解消のため就業支援金制度を創設

市内の看護師などを確保するため平成23年より行われていた看護師等修学資金貸与事業が廃止になりました。貸与者数が減少していることや看護師の定着率が課題となっていました。新たな人材確保の取組みとして給付型の助成金にし、市内在住在勤を条件に市内へ就職してから5年間、就業支援金などを受けられるようになります。今後、市内の看護師不足が解消になるよう期待します。



お手数ですが切手をお貼りください

343-0023

越谷市東越谷1-5-17-1F

越谷市民ネットワーク行

差し支えなければ連絡先をご記入ください

住所

氏名

電話番号

活動報告

触って使って身近に感じて ～インクルーシブ教育を考える会～

普段、私の子どもは福祉用具を使用しています。福祉用具や障がいを感じてもらうために、初開催「こしがや子どもまんなか!フェスティバル」に福祉用具体験ブースとして参加しました。

車いすを押していると、通りすがりのお子さんが物珍しそうにこちらを眺めていることがよくあります。体験をきっかけに、「あれ、この前乗ったんだよー!」という反応に変わればとても嬉しいです。(インクルーシブ教育を考える会 E&F)



車いす試乗体験



こども用車椅子とバギー

アンケートにご協力ください

今回のレポートでどの項目に関心を持ちましたか。○をつけてください。

- ・暮らしの先に政治がある 変えるのは私たち
- ・子どもの居場所への支援拡充へ
- ・オーガニックビレッジ宣言で環境に優しい農業を
- ・子どもたちの学校給食 自校式も含めた検討を
- ・核兵器廃絶に向けた確実な一歩
- ・ネットの視点
- ・活動報告

その理由をお聞かせください。

県政・市政についての要望や気になっていることをご自由にお書きください

「市内見学バスツアー」に参加して

10月22日「市内見学バスツアー」に「高齢者福祉を考える会」総勢13名で行って来ました。

見学施設の最初はリサイクルプラザで、ゴミの仕分けは磁石や手などで行っていました。リターナブルびんの展示棚には生活クラブの牛乳瓶や醤油瓶も展示してあり、機会があれば見学をお勧めします。次の農業技術センターでは収穫し立ての「越谷スカイメロン」を目にしたが熟成していないので試食叶わず、残念でした。メロンは近くのゴミ焼却炉からの熱利用で水耕栽培しているそうです。農業技術のセンター内での昼食後に向かうは能楽堂。普段見ることの無い舞台裏の楽屋や和室からは花田苑も眺めることができました。

市のマイクロバスに乗り、しばし日常から解放されたトリップ。小さな旅を味わう事ができました。(K・T)



編集後記



ネットのレポートは運営委員のみんなで作っています。最近寒くなってきましたね。乾燥肌なのに熱いシャワーで顔洗っていないですか?お湯の温度は37℃以下がおすすめですよ!

運営委員美容家じゅり

越谷市民ネットワーク議員



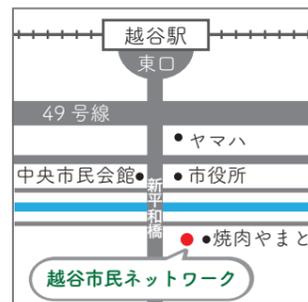
越谷市議会議員
山田 ゆう子
中町在住



越谷市議会議員
清水 泉
袋山在住



越谷市議会議員
大田 ちひろ
南越谷在住



市民ネット3つのルール

- ①任期は最長3期12年で交代
- ②選挙はカンパとボランティア
- ③議員報酬はみんなの活動費

お問い合わせ

越谷市民ネットワーク
〒343-0023越谷市東越谷1-5-17-1F
TEL/FAX 048-962-8052
E-MAIL koshigaya.net@gmail.com

No.130
2024年11月

生き活きレポート

越谷市民ネットワーク



暮らしの先に政治がある 変えるのは私たち

裏金問題を受け自公過半数割れに

総裁選後、史上最短で行われた衆議院解散総選挙。自民党は裏金問題などの影響を受けて議席を大幅に減らし、結果は自公過半数割れとなりました。物価高や裏金問題に対する市民の怒りが反映された結果ではありますが、政権交代とはならず、先行きは不透明です。また、原発再稼働や憲法改正、核廃絶などの問題は争点にならず、今後国会できちんと議論されるのか監視しなければなりません。

選挙の後にも当選した議員の仕事ぶりをチェックし、市民目線の政治を行ってもらうために、私たちは何ができるのでしょうか。

新人の竹内千春氏を支援

ネットは埼玉3区(越谷市・川口市の一部)に立候補した立憲民主党の竹内千春氏と政策協定を結び、準備期間から選挙期間まで一貫して全面支援しました。

裏金問題の温床となった世襲・派閥政治からの脱却や、選択的夫婦別姓の実現を頑なに拒んでいるのは旧統一協会問題に関与した議員であることなどから、今回の衆院選は政権交代のチャンスと位置付け、竹内氏の当選を目指しました。

残念ながら小選挙区では敗れましたが、比例区で復活当選。これからも連携して活動し、国政にもネットの声を届けていきます。



市民ボランティアによる街宣

どんなに大きな選挙でも市民主体で

今回、竹内氏の選挙で特徴的だったことは、国会議員や地方議員といった政治家や政党関係者だけでなく、おおぜいの市民が街頭に駆けつけ、自主的に応援していたことです。候補者と共に行う選挙運動だけでなく、一人で街頭に立ち「選挙へ行こう」と訴える「ひとり街宣」も行われました。日に日にボランティアの数が増え、良い雰囲気の中で市民の力が発揮される選挙ができたことは今後につながる貴重な経験であり、こうした経験の積み重ねが越谷の民主主義を揺るぎないものにするのだと確信しました。

ネットは今後も、いざという時にはいつでも市民力を発揮できるように地道に日常活動に取り組み、たくさんの仲間たちとつながっていきます。

映画上映会のお知らせ

日時:2024年11月30日(土)

1回目上映 10:00 2回目上映 13:30

★2回目のみ15:30より監督トークライブあり

入場料:1,000円 ★大学生以下無料

会場:越谷コミュニティセンター(サンシティ)視聴覚室

申込み:お申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

主催:「〇月〇日、区長になる女。」越谷上映実行委員会

問合せ:048-962-8052

市長になる女。 区長になる女。

この日は希望がある

映画 〇月〇日

市長選挙の裏面を「自分ごと」として、カメラで捉えた市民の横トキメンタリーが完成。月、次は、あなたかもしれない。

市長選挙の裏面を「自分ごと」として、カメラで捉えた市民の横トキメンタリーが完成。月、次は、あなたかもしれない。

市長選挙の裏面を「自分ごと」として、カメラで捉えた市民の横トキメンタリーが完成。月、次は、あなたかもしれない。